

御嶽山の噴火による被害状況等について（第27報）

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	9月27日 12:36 注意体制 13:45 非常体制			
	9月28日 17:00 非常災害対策本部			
関東地方整備局	9月27日 14:00 注意体制	北陸信越運輸局	9月27日 12:50 注意体制	
中部地方整備局	9月27日 12:36 警戒体制 14:45 非常体制	中部運輸局	9月27日 15:00 注意体制	
	10月17日 19:00 警戒体制 <u>10月30日 18:00 注意体制</u>			
国土地理院	9月27日 12:36 注意体制 13:45 非常体制	気象庁	9月27日 12:36 警戒体制 17:00 非常体制	

2. 噴火の概要

- ・ 9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局設置の滝越カメラにより、南側斜面を火砕流が3キロメートルを超えて流れ下るのを観測。噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけ。現在も引き続き、火山活動は高まった状態で推移。
- ・ 御嶽山で噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来。
- ・ 9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。
- ・ 9月27日の噴火前から連続して発生している火山性微動は、検知できない程度の大きさになり、10月7日以降は観測されていない。（11月5日08時現在）。
- ・ 傾斜計などの観測データに特段の変化はみられない（11月8日08時現在）。
- ・ 11月5日07時50分現在、噴煙は白色で、高さは火口縁上200メートルで北東に流れている。

【噴火警報の発表状況等】

- 9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）
噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）
※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。
- 対象市町村等
 - ・ 長野県：王滝村、木曾町
 - ・ 岐阜県：高山市、下呂市
- 防災上の警戒事項
 - ・ 火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流等に警戒が必要
 - ・ 風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要
 - ・ 爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要
- 9月27日13時35分 ~ 10月10日15時5分 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示（火口縁上300m程度の有色噴煙が観測された場合に発表することとしているが、現在噴煙の高さが低く、白色であるため、発表していない。）
- 9月27日16時 ~ 10月17日21時 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表
10月18日 ~ 火山の状況に関する解説情報を1日2回（8時と16時）発表
- 9月28日19時30分 噴火警報（火口周辺警報）を更新し、火砕流に対して警戒を呼びかける

3. 国土交通省の対応

- 9/27 14:25大臣防災センター登庁（対策を指示）
- 9/27 14:30気象庁記者会見
- 9/27 14:40第1回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/27 15:43第2回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/28 10:30御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議を開催
- 9/30 北川国土交通副大臣が現地入り
- 政府現地対策本部へ派遣
 - ・ 国土交通本省より1名派遣、中部地方整備局より1名派遣、北陸信越運輸局より2名派遣、北陸信越運輸局長野支局より1名派遣(9/28~10/7)
 - ・ 中部地方整備局より1名派遣、北陸信越運輸局より2名派遣(10/8~17)
- 官邸リエゾンを派遣（9/27~10/4）

【救助、下山支援】

- リエゾン（情報連絡員）の派遣
 - ・ 自治体支援（長野県、長野県王滝村、長野県木曾町、岐阜県、岐阜県高山市、岐阜県下呂市）のため最大11名派遣(9/27~10/17)。
- 専門家の派遣
 - ・ 国総研、土研より砂防専門家最大3名を派遣（国総研1名：9/27~29、10/2~3、10/5~7、10/13~15）（土研 1名：9/27~10/1、1名：9/27~10/3、1名：10/5~7、1名：10/13~14）（噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策の検討・助言するため）

○災害対策用機械等出動状況（11月5日10:00現在）

整備局名	出動先	出動理由	機械名	台数	状況	期間
中部地整	長野県木曾郡木曾町開田高原西野（鹿ノ瀬川現場）	砂防堰堤設置作業	分解組立型遠隔操作式バックホウ	1	稼働後撤収済み	10月6日~ 10月31日
中部地整	長野県木曾郡王滝村濁川	土石流監視	Ku-SAT	1	稼働後撤収済み	10月2日~ 10月30日
中部地整	名古屋大学地震火山緊急センター	映像配信	Ku-SAT	1	稼働後撤収済み	10月2日~ 10月30日

※災害対策用機械等最大16台派遣。

- ・ 照明車両5台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働。（9/27~9/28）
- ・ 木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は9/28 4:20作業完了。

【二次災害防止対策】

- 9月28日、土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手。
- TEC-FORCEの派遣
 - ・ 救助・下山支援および被災状況把握、応急対策実施等のため最大19名派遣(9/27~10/15)。
- 防災ヘリコプターによる被害状況調査
 - ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施(9/27 15:20~)。山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
 - ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/28:2回、9/29:1回、9/30:1回)。
 - ・ 関東地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの降灰状況調査を実施(9/30)。
 - ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空から台風第18号に伴う降雨後の被災状況調査を実施(10/7)。
 - ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空から台風第19号に伴う降雨後の被災状況調査を実施(10/15)。
- 地上における状況調査
 - ・ 地上より降灰状況調査を実施。UAV（無人ヘリ）を用いて立入規制区域を含めて調査を実施(9/29)。
- 関係自治体等への情報提供
 - ・ 関係する県、市町村、関係機関等に、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。

- ・関係自治体に対して、「御嶽山周辺地域における今後の降雨に対する土砂災害に関する注意事項」の情報提供を実施。

- ・御嶽山における降灰後の土石流に関するシミュレーション結果を、長野県、木曾町、王滝村に情報提供実施。(10/3)

- ・関係自治体に対して、ヘリコプター及び地上からの調査による台風18号に伴う降雨後の溪流状況の情報提供を実施。(10/7)

- ・関係自治体に対して、ヘリコプター及び地上からの調査による台風19号に伴う降雨後の溪流状況の情報提供を実施。(10/15)

○今後の応急対策に資する備蓄資材(大型土のう袋等)を確保済み。

○監視カメラとワイヤーセンサー設置状況

河川名	監視カメラ	ワイヤーセンサー	機関名
湯川	10月7日 設置完了	10月9日 設置完了	国土交通省
	10月2日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
白川	10月3日 設置完了	10月2日 設置完了	長野県
濁沢川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
冷川	10月2日 設置完了	10月3日 設置完了	国土交通省
鹿ノ瀬川	10月2日 設置完了	10月4日 設置完了	国土交通省

○砂防堰堤設置

- ・流域に火山灰が堆積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川に、コンクリートブロック積堰堤1基(4tブロック使用)設置完了(10/2~10/30)

【その他】

○長野県道1路線で噴火による通行規制を9月27日14:20から実施中

上記の外に、町道鹿ノ瀬線、屋敷野線、千本松線、寒原倉越線、村道41号線について噴火による通行規制中

○10月16日20:34 防衛省と調整し、「20時00分をもって注意喚起を終了する」を内容とする航空情報(ノータム)を発行

○気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報(ノータム)を9月27日12:21に発行。以降、継続して発行(65通目10月10日21:16)。

4. 気象庁の対応

○御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。

○噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。

○気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況、火山ガスの観測等の調査を実施(長野地方気象台:9月27日、気象庁:9月27日~)

○降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施(9月27日~9月28日)

○火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)

○御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)。

○長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日~10月17日)

○長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気予想)を提供(9月28日5時~1日2回、10月1日5時~1日3回の提供)

○国土交通省中部地方整備局のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)

○陸上自衛隊のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)

○気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日)

○火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、統一見解を公表(9月28日)

○政府の現地対策本部に東京管区気象台気象防災部長他3名を派遣(9月28日~10月18日)

○王滝大又(長野県木曾郡王滝村)に臨時雨量観測所を設置(10月3日)

○航空自衛隊のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(10月7日午前、9日午前、16日午前)

○気象庁ホームページに火山登山者向けの情報提供ページを新たに設け、10月10日17時から提供を開始

- 火山噴火予知連絡会を開催し、御嶽山の活動状況などについて評価（10月23日）
- 火山噴火予知連絡会 火山観測体制等に関する検討会を開催（10月24日）
- 火山噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会を開催（10月27日）

5. 国土地理院の対応

- ・御嶽山の被害状況把握のため、空中写真撮影準備中（9月27日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影を実施（9月28日、10月7日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真を関係機関へ提供（9月28日、10月7日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真および正射画像をホームページで公開（9月28日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影および航空機SAR観測を実施（9月29日）
- ・28, 29日撮影の斜め写真による3D動画をホームページで公開（9月29日）
- ・政府の現地対策本部に職員1名を派遣（9月29日～10月17日）
- ・御嶽山の噴火周辺地域の航空機SAR観測を実施（9月29, 30日）
- ・29, 30日に観測したSAR画像から推定した火口位置とSAR画像をホームページで公開（9月30日）
- ・人工衛星（だいち2号）データを用いて御嶽山の地表変化を面的に把握しホームページで公表（10月3日）

URL : <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>

6. 一般被害の状況

- ・人的被害（消防庁10月23日15:00現在）
 - 死者57名、行方不明者6名
 - 負傷者69人（長野県59名、岐阜県10名）

7. 所管施設等の状況

○土砂災害

- 土砂災害発生状況（11月5日10:00現在）
- 土石流等

都道府県名	市町村名	人的被害			人家被害					
		死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊			
長野県	2件	王滝村	2件							
合計	2件			名	名	名	戸	戸	戸	

- 土砂災害警戒情報の発表状況及び土砂災害に関わる避難勧告等の状況（11月5日10:00現在）
 - ・土砂災害警戒情報の発表なし。

○鉄道関係（11月5日10:00現在）

- ・9月27日 12時55分より御岳ロープウェイは運転休止

○自動車関係（11月5日10:00現在）

【御遺体搬送関係】

長野県からの要請により、長野県トラック協会、全国霊柩自動車協会が以下のとおり対応（御遺体搬送のための延べ車両数56両（9月28日～））

【バス関係】

- ・おんたけ交通 バス2路線運休中

○河川、管理ダム、水管理・国土保全局所管の海岸保全施設、道路、海事関係、港湾関係、航空関係、物流関係、下水道、公園、宅地、公営住宅関連等、官庁施設、観光関係については現時点で被害情報なし（11月5日10:00現在）

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461